



認知症コミュニケーション ケア技法(ユマニチュード)

問 認知症の人の尊厳ある暮らしを守るため、ユマニチュードに取り組むことで、認知症の方を支える具体的な技法

を学ぶことができると考えるが、見解を聞きたい。

答 認知症コーディネーター養成研修では、ユマニチュードを活用し、認知症フレンドリーシティを目指している福岡市を視察する予定であり、その取組を今後の施策に生かしていきたい。

再発言 本市が積み上げてきた認知症ケアへの取組に加えて、新たなユマニチュードの視点も取り入れて、誰もが安心して暮らせるまちになるよう取り組んでほしい。



ヤングケアラー支援の強化と 一人ひとりに寄り添った 支援体制の構築

問 現状と今後の取り組みは。

答 現在集計中の無記名式のアンケート結果を踏まえ、実態調査の必要性、ヤングケア

ラーへの支援策等について検討することとしている。さらなるヤングケアラーの把握と支援強化のため、関係機関職員の理解を深めていきたい。

大牟田駅東口(観光 プラザ横)・西口の 分煙施設等の整備

問 市たばこ税の収入額は。

答 令和5年度収入額は約9億2千万円。

問 駅東口横の喫煙場所には、この税の活用を含めた分煙施設等の整備が必要では。

答 今後、有効な手だてを検

文化・芸術を通した 人づくり、まちづくり

問 子供たちが文化・芸術に触れることのできる取組の現状と課題について聞きたい。

答 まちの芸術家派遣事業や日フィル交響楽団大牟田公演への大牟田未来応援シートの設置、音楽鑑賞会等の取組を行っている。子供たちが文化・芸術に触れる時間的余裕がないなどの課題があるため、その機会・取組の充実や文化芸術の情報発信の強化が必要。

討していきたい。

再発言 駅西口には、喫煙場所がなく、煙や臭い、吸い殻など苦情が多いため、早急に分煙施設等を整備してほしい。

多くの登山者が訪れる 三池山の駐車場と 案内板の整備

問 駐車場整備が必要では。

答 今年度、駐車場を整備する場所について、地元関係者との合意形成を図りたい。

再発言 駐車場から登山道入口までの案内板についても併せて設置してほしい。



新型コロナウイルス 感染症対策について

問 新型コロナウイルス感染症対策について、市の見解は。

答 引き続き、マスクの着用を含む咳エチケットなどの基

本的な感染防止策をお願いしていきたい。10月からは、65歳以上の高齢者等への、定期予防接種を開始する。

空き地・空家対策について

問 空き地・空き家に対する市の考えは。

答 空き家については、適正管理、予防、利活用、除却に加え、市場流通の施策が必要。空き地については、対面により指導文書を交付し、早期の対応を求めている。

地域公共交通について

問 本市の厳しい公共交通の現状に対する市の考えは。

答 地域で暮らす誰もが、安心して移動できる公共交通体系のサービス構築を目指す。

問 JR銀水駅のトイレ改修に対する市長の思いは。

答 地域の熱い思いを受け止め、令和7年2月中の完成を目指し鋭意取り組んでいる。

再発言 高校3年生が卒業する前に式典を開催してほしい。